

講義科目 : 地方財政論	単位数 : 2
担当 : 大畑 智史	学習形態 : 選択科目

#### 講義の内容・方法および到達目標

現在、日本をみても、国や地方自治体は、災害対応、教育、などの面で重要な存在です。本講義では、主として、そうした主体は現在どのような形で運営されているのか、その状況はどうか、などの点を、特に日本の地方自治体の場合に焦点をあてて説明します。本講義は、そうしたことにより、受講生が、我々の日常生活に身近な地方自治体の財政に関し専門的に考察できることを目標とします。

#### 授業計画

第1回	オリエンテーション：地方財政とは
2回	地方自治体の役割
3回	地方分権
4回	公共財
5回	予算制度
6回	地方税：理論
7回	地方税：制度
8回	国と地方との財政関係：特定補助金
9回	国と地方との財政関係：一般補助金
10回	地方債：理論
11回	地方債：制度
12回	地方財政健全化
13回	地方公営企業と第3セクター
14回	公会計
15回	地方財政改革、まとめ

#### 教材・テキスト・参考文献等

テキストは指定しませんが、下記の文献を参考文献として挙げておきます。  
 本庄 資、岩元 浩一、関口 博久『現代地方財政論』大蔵財務協会、2018年  
 植田和弘、諸富徹 編『テキストブック 現代財政学』有斐閣、2016年  
 持田信樹『地方財政論』東京大学出版会、2013年  
 『図説 日本の財政』東洋経済新報社（各年度版）  
 『図説 日本の税制』財経詳報社（各年度版）

#### 成績評価方法

定期試験：70%

講義内容についての感想（複数回）：30%

#### その他

・財政学、金融論、などの科目も履修することをお勧めします。